



愛と健康の

かけはし

No. 34



編集・発行 情報委員会

神戸朝日病院

住所：神戸市長田区房王寺町3丁目5-25

電話：(078) 612-5151

URL: <http://www.kobe-asahi-hp.com>

診療科目

- 内科
- 小児科
- 外科
- 整形外科
- 消化器科
- 循環器科
- 呼吸器科
- 神経内科
- 放射線科
- リハビリテーション科
- 肛門科

専門外来

- 乳腺外来
- 糖尿病外来
- 人工透析
- 医療相談
- 栄養相談
- 薬剤相談
- 人間ドック
- 健康診断

診療時間

【午前診・月～土】
受付8:10～12:00
診察9:00～

【夜間診・月～金】
受付17:00～18:30
診察17:30～

※ただし急病患者については時間制限なく診察いたします。

- 兵庫県肝疾患専門医療機関
- 日本医療機能評価機構認定病院
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会認定施設
- 日本内科学会認定教育関連病院
- 臨床研修病院指定
- 日本医療薬学会研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設
- 日本栄養療法推進協議会NST稼働認定施設

■ すでに2008年8月の「かけはし」号外にてお知らせしましたように、2008年8月1日兵庫県より肝疾患専門医療機関の認定を受けました。開院以来20年間にわたる当院の肝疾患に対する取り組みを評価頂いたことに誇りを感じると同時に責任の重さを痛感しています。そこで、このたび肝疾患専門医療機関としての当院の医療レベルをさらにグレードアップし、肝炎から肝臓までのトータルケアを実践する目的で肝臓病センターを立ち上げることにしました。

■ 現在日本における肝臓による死亡率は西高東低の傾向が顕著であり、人口10万人あたり26人の全国平均に対して兵庫県は33人と高く、死亡者数は2000人近くに達し、全国4位に位置しています。兵庫県においては、肝臓対策は急務です。

■ 今回は、肝臓の診断と治療の進歩について簡単に述べたいと考えます。

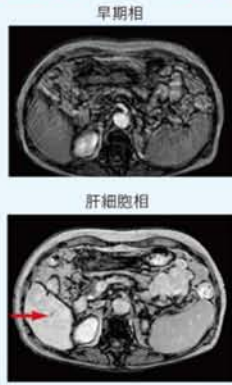
肝臓病センター設立にあたって

一肝炎から肝臓までのトータルケアをめざして

肝臓専門医 院長 金守良



造影剤EOBを用いたEOB-MRI



※約8mmの肝細胞癌が描出されています。
(→の小さく黒く抜けているところ)
『Case report in Gastroenterology 2009 掲載予定』

■ 肝臓の生命予後の改善に向けては、早期診断が重要であることはいうまでもありません。そのポイントは画像診断にあります。近年、画像診断の進歩はめざましく、2007年より導入されたソナソイドによる造影エコー、又2008年から肝特異性造影剤EOBを用いたMRI (EOB-MRI)により、肝臓の診断は飛躍的に進歩しました。当院における検討でも造影CT、ソナソイド造影エコー、EOB-MRIを組み合わせると、2cm以下の早期肝臓の80%以上が画像により

診断が可能であることが明らかになりました。(日本肝臓学会総会(2009年6月)、日本肝臓病研究会(2009年7月)にて発表)。

■ 又、治療の進歩についていえば、治療に難渋していた進行した肝臓を対象にして、今までの経口抗癌剤とは違った機序の薬、すなわち分子標的治療薬を用いた臨床試験が欧米において行なわれ、統計学的に有意に延命効果があることが明らかになりました。その結果を踏まえて、日本でも分子標的治療薬であるネクサバル®錠(ソラフェニブ)がこの5月22日から保険認可となりました。副作用としては、高血圧、下痢、発疹などがあります。適応については、手術が可能な進行した肝臓で、肝機能が比較的保たれている患者に限られています。又、使用できるのは、当面、肝臓専門医療機関に限定されています。

■ 当院においては、以上述べた肝臓に関する診断と治療進歩を臨床の現場

2ページに続きます



に的確に反映させ、患者の皆様の予後改善に全力を注ぐ考えです。

■今後も西神戸において、かかりつけの先生方とのより一層密な治療ネットワークを構築し、肝癌撲滅にむけて、きめの細かい肝疾患対策をすすめる所存です。

■今回の肝臓病センター設立(名誉センター長 井本勉、センター長 金守良、センター医 三田敬二)にあたって、引き続き肝炎から肝癌までのトータルケアに努力を続けることを表明し、御挨拶に代えたいと思います。

2009年(平成)5月23日 土曜日

肝臓がん ラジオ波焼灼療法

電磁波を利用し「焼く」

ひょうごの医療

腫瘍の大きさ、個数など条件も

神戸新聞「ひょうごの医療」や、読売新聞「病院の実力」でも紹介されました。

施設名	件数	備考
明和病院	156	104 131
神戸市立中央市民病院	144	83 263
西神戸医療センター	109	23 146
西宮東部市民病院	106	28 234
神戸市立西宮市民病院	97	22 130
神戸市立中央市民病院	93	313
神戸市立西宮市民病院	83	92 192
市立伊丹病院	46	14 88
市立西宮病院	30	1 58
伊丹市立市民病院	20	1 58

2008年度(2008年4月~2009年3月)の
肝癌治療の主な実績

- ラジオ波焼灼療法 66件
- 肝切除術 2件
- 肝動脈塞栓療法 43件
- 肝動注化学療法 18件

正しい手洗い

●感染予防の基本となる手洗いですが、意外にきちんと洗えている人は少ないようです。右図を参考に正しい手洗いを覚えましょう。



1 流水で洗浄する部分をぬらしめます。



2 石けんを手のひらにとります。



3 手のひらを洗います。



4 手のひらで手の甲を包むように洗います。(反対側も同様に)



5 指の間もよく洗います。



6 指までよく洗います。



7 親指の周囲もよく洗います。



洗い残しをチェックできる特殊なクリームを使って、職員の手洗い講習会を実施しています。自分の手洗いの癖に気がついて、正しい手洗いができると好評です。



8 指先、爪もよく洗います。



9 手首もよく洗います。



10 流水で洗い流します。



11 ペーパータオル等で拭きます。

家庭での食中毒予防の6つのポイント

食中毒の原因となる細菌は生活環境のあらゆるところに存在します。外見だけで安心せず、衛生的な調理、取扱いを心がけましょう。食中毒は簡単な予防方法をきちんと守れば防ぐことができます。



1 食品の購入

- 生鮮食品の買い置きは、なるべく避け必要な分だけ計画的に買うようにしましょう。
- 肉や魚などは水分がもれないようにビニール袋に分けて包みましょう。

2 保存

- 生鮮食品と調理済み食品は、お互いふれ合わないようになんて位置をきめておくのがよいでしょう。
- 冷蔵庫は月に一回くらい、ていねいに掃除をしましょう。

3 下準備

- 生で食べるものから先に洗い、加熱調理するものは、あとで洗きましょう。
- 冷凍の素材は使う分だけ解凍し、解凍後は早めに調理しましょう。

4 調理

- 中心まで火を通し加熱殺菌をしっかりと行ないましょう。
- 生ものなどにさわったときは手を洗いましょう。

5 食事

- 食卓に出したものはすぐに食べましょう。すぐに食べられない人の分は、冷ましてからふたをして冷蔵庫に保存しましょう。

6 残った食品

- 残った食品を保存する際は、きれいに洗った箸などを使いましょう。
- 長い間室温に置いたものは、捨てるほうがよいでしょう。
- 残った食品を温め直すときも十分に加熱しましょう。



血液サラサラ!

栄養科 廣野 圭衣子

アジにはビタミンA・B・E、カルシウム、カリウム、タウリンなど様々な栄養素がバランスよく含まれています。アジの脂質には、必須脂肪酸である「DHA」や「EPA」が豊富に含まれています。DHAは脳や神経組織の発育や機能の維持において重要な働きをすることが知られており、記憶力の低下を抑えたり、目によいとされています。また、コレステロールを低下させる作用もあります。EPAは血液をサラサラにして、血中のコレステロールや中性脂肪を低下させる働きを持ちます。さらにアジには骨・歯の形成、骨粗鬆症の予防に欠かせないカルシウムも多く含まれています。また、他の魚に比べカリウムが多いのが特徴で、カリウムは塩の取り過ぎによる高血圧症を防ぐ効果があります。

作り方

- ① アジは三枚におろし、Aに約30分間つけこんで下味をつける。
- ② レタスは洗って水気をきり、食べやすい大きさにちぎる。玉ねぎはうす切りにし、水にさらしたのち水気をきる。トマトはヘタを取り除き、くし型に切る。
- ③ ボールにBを入れて混ぜ合わせ、ドレッシングをつくる。
- ④ ①のアジに片栗粉(分量外)をまぶし、180℃の揚げ油でカラリと揚げる。
- ⑤ 器に②の野菜を盛りつけ、上にアジの唐揚げをのせ、上からドレッシングをかける。



アジの唐揚げサラダ

材料(2人分)

- 小アジ・・・150g
- レタス・・・1/4コ
- 玉ねぎ・・・1/4コ
- トマト・・・1/2コ

★A(つけ汁)

- 牛乳・・・大さじ3
- ニンニク(すりおろし)・・・1/2かけ
- 塩・・・少々
- こしょう・・・少々

★B(ドレッシング)

- 酢・・・大さじ2
- しょうゆ・・・大さじ1.5
- 砂糖・・・大さじ1/2
- ごま油・・・大さじ1/2

